

無災害達成誓い合う

サンエス企業G 安全大会

【釧路発】サンエス電気通信㈱（釧路市、宮田昌利社長）を中核とするサンエス企業グループは6月30日、釧路工業技術センターで2025年度安全大会を開催した。協力会社を含め約70人が参加。本年度の重点対策などを確認し、無事故・無災害達成に向け決意を新たにした。

グループ各社を代表してあいさつに立った宮田社長

「写真」は、1日から始まる全国安全週間に触れ「安全週間は交通安全や作業安全など、各種安全を誓い合う期間。大会では一緒に安全に対する心構えを確認したい」と呼びかけたほか、ことの重点目標として「作業安全3S（整理、整頓、清掃）の徹底、交通安全3



S（シートベルト着用、セーフティスピード、ストップ一時停止）の徹底、心身ともに健康で働きやすい職場環境づくり」を挙げ、参加者の一層の努力を要請した。続いて経営企画部SQE管理室の小野学室長が安全管理について解説。前年度に発生した労働災害や交通

違反・事故の件数、事例、安全パトロール結果などを紹介した上で、かもしれない運転や作業方法の改善などことしの重点対策について「みんなで共有し、危険の芽を摘み取ろう」と呼びかけた。

このあと、釧路労基署の松本宏司副署長が建設業における労働災害防止対策について特別講話。最後に電設工事部の瀧本勉副部長が安全宣言、情報通信部の菅谷恵介主任が安全標語を唱和し、参加者全員で安全への誓いを新たにした。